on your mark

THE ASSOCIATED GENERAL CONTRACTORS OF TOKYO

［オン・ユア・マーク］
建設業への
就職を
考えている
あなたへ

建設業の魅力
とにかく現場はオモシロイ

ゼネコン若手社員インタビュー
未来を築き社会を支える

現場密着ルポルタージュ
現場を支える若手社員の一日

建設業で働く若者
100人に聞きました

ベテランからのメッセージ
私の駆け出し時代

2020年 世界からのお客様を「お・も・て・な・し」
東京オリンピック・パラリンピック

未来創造への街づくり
都市再開発プロジェクト

建設業の近未来

ゼネコンの職種一覧

建設業 就活応援サイト
みんなの建設業 就活ナビ

建設業 就活応援サイト

みんなの建設業 就活ナビ

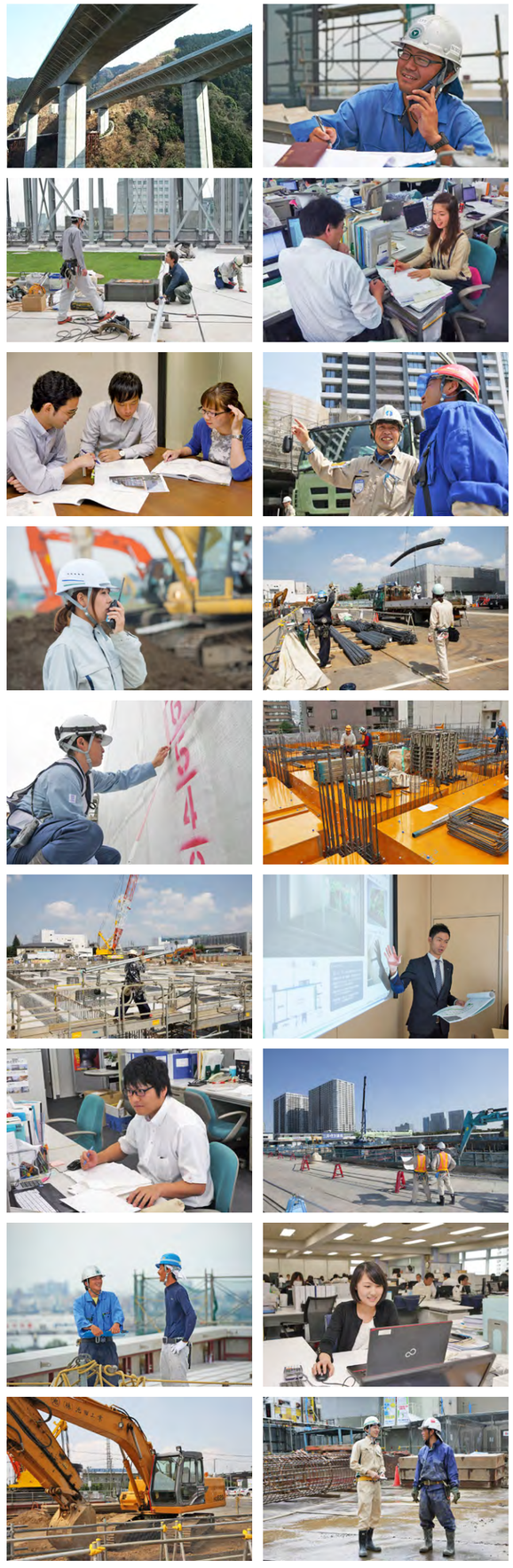
http://minken.ne.jp/

建設業の魅力や採用情報等、様々なコンテンツを用意しています。
是非ご覧ください。

一般社団法人 東京建設業協会
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館5F
TEL：03-3552-5656（代表）　FAX：03-3555-2170
http:// www.token.or.jp/

企画制作：事業委員会広報研修部会
2017年12月 改訂版

東京建設業協会
オリジナルキャラクター



とにかく現場

建設業の魅力
未来をつくるワクワクがある

建設業は未来をつくる仕事です。
都市や街の将来を考え、クライアントの想いに耳を傾け、最新の技術やデザインで新しい夢をカタチにしていく。そして、安全・安心を最優先の課題として、大規模化する自然災害にも負けない、強い街づくりに挑戦する。建設現場にはいつも、社会的使命に応える熱い責任感と、ゼロから未来を創造するダイナミックなモノづくりの喜びが満ちています。
このパンフレットでは、こうした建設業の魅力を先輩たちの声でリアルにお伝えします。日々、新しい課題と向き合い、技術とアイデアと情熱で克服する建設の世界。多くの人々が安心して快適に暮らせる環境づくりに挑む、建設の醍醐味をぜひ感じとってください。

CREATION
創造
未来の礎と夢を築く

真っ白なキャンバスに街の未来を描く楽しさ。困難を乗り越えて完成させた時の達成感。そして、多くの人々に利用され、街の風景になる喜び。建設の仕事には、他では味わうことのできないスケールの大きなモノづくりの醍醐味が満ちています。

MOTIVATION
やりがい
社会貢献をカタチで遺す

交通やエネルギー、上下水道などのインフラを支えるのも建設業の大きな使命です。便利で快適な暮らしを足元でしっかり支え、災害にも強い都市基盤を築く仕事には、大きな責任感と充足感が溢れています。

TEAMWORK
チームワーク
創るを支える人々の力

それぞれに専門的な技術・技能を身に付けた大勢のスタッフが、知恵と力を合わせて大きな構造物を造り上げていく。自分ひとりの力では決してなし得ないダイナミックなモノづくりの現場は、毎日が新しい感動と発見の連続です。

はオモシロイ

未来を築き、社会を支える

ゼネコン若手社員インタビュー

建設業には多種多様な職種の仕事があります。
現在、建設現場と深く関わる立場で活躍している若者たちを、それぞれの現場で取材しました。
これからの建設業界を支えるモノづくりへの情熱とエネルギーをご紹介いたします。

スケール感を体感できるのが土木の醍醐味

伊藤 敬大 土木施工／2010年入社

土木の世界に興味を持つきっかけになったのは、白鳥大橋です。地元北海道の室蘭港に架かる1380mの吊橋なのですが、私が幼い頃、完成した姿を見て、その存在感に圧倒されました。大学で土木のことを幅広く学び、将来自分が何をやりたいかと自問した時に、デスクワークよりも現場で身体を動かして働きたい、構造物を造っていく現場に携わりたいと思い、土木施工の道を選びました。ひとつの橋や道路、トンネルが完成するまでには気が遠くなるほど多くの労力と時間が必要となります。今の現場にも毎日100人以上の作業員が関わっていますが、それだけ多くの人の手によって造られたという、そのスケール感をリアルに体感できることが、土木の仕事のやりがいだと思います。逆にこの仕事の怖いところは、土や水といった自然が相手であり、ちょっとしたミスで、取り返しがつかないことになり得ます。そのことは肝に銘じていて、私自身、1、2年目に比べれば、緊張感と責任感が増したと思います。将来、現場で上の立場に立ち、きちんと指示や説明ができるように、一つひとつ実績を確実に積み上げていきたいと思います。

設計のプロとして付加価値のある提案を

長尾 裕介 意匠設計／2011年入社

意匠設計は、人の生活に寄り添う空間や建物をデザインする仕事です。自分の提案が構造物としてカタチになり、利用者のみなさんに喜んでもらえることに一番のやりがいを感じます。大学では建築学を専攻し、心地よい空間とはどんな空間なのかを定量的に分析するなど、空間が人に与える影響について研究していました。就職活動時は設計事務所なども検討しましたが、現場と密なコミュニケーションが必要で、できあがっていく過程を見ながら利用シーンをイメージできる点に大きな魅力を感じ、総合建設業の意匠設計を選びました。かつての上司に言われた言葉なのですが、私たちはただ依頼主のご要望に応えるだけでなく、設計のプロとしての付加価値を提案し、依頼主が求める以上のものを創造しなければなりません。5年目を迎える今は、いかにして付加価値のある提案に仕上げていくかを常に模索する日々です。これまでは商業施設や駅関連施設をはじめ、さまざまな物件を手がけることができました。今後は、より広い視野を持って、さらに大規模な施設や街づくりに関わっていきたいと思います。

提案を実現することが、次への意欲に

柿田 修平 設備／2013年入社

大学では環境工学科に籍を置き、騒音や水質汚染など生活環境の問題を重点的に研究していました。それらを最も活かせるのがゼネコンの設備担当ではないかと考え、面接時には生活環境をトータルマネジメントできる部署で働きたいとお願いしました。現在は希望どおりの職務に就くことができ、日々充実しています。建設業については、入社後にほぼゼロから学んでいますが、がむしゃらに取り組むことで何とか追いついている状態です。知らないことはまだまだ多いですし、職人さんに叱咤されることもありますが、それは職人さんも私も仕事に真摯に向き合っているからこそだとポジティブに捉えています。設備の仕事は、お客様の希望を忠実に具現化しつつ法的条件を満たすところに難しさがありますが、実際に自分の提案がカタチになると、次の仕事への意欲が湧いてきます。前の現場で所長や副所長に「何事もセンス良く！」とよく言われましたが、それは自分だけでなく誰が見ても気持ちよく満足できる仕事をしなさいという意味。その言葉を守り多角的視点で考え、細部まで気を配った提案をするように心がけています。

安全で高品質な建物を世界中に残したい

大滝 麗理 建築施工／2014年入社

私は中学・高校の頃、家族と上海で暮らしていたのですが、2008年に発生した四川大地震は今も忘れられません。現地の建物がたくさん倒壊している映像をテレビで目の当たりにし、自分は大学で建築を学ぼう、そして安全でしっかりした品質の建物を自分の手で造りたいと思うようになりました。ですから、現在の建築施工という職種は私の念願で、日々やりがいを感じています。1年目は川口市の病院の現場に配属され、竣工後にお客様から贈られた感謝の言葉に感動しました。2年目の今年は、さいたま市の大規模倉庫の現場で鉄筋を担当。私は、職人さんが来るまでの準備、鉄筋が組まれている状態の確認、各担当との調整などを行っています。この工事では高性能免震システムを採用しており、安全な建物づくりに関わっていることに喜びを感じています。1年目は知識不足で失敗もありましたが、現在は前の現場で先輩が担当していた仕事を任されることもあり、自分の成長を実感できています。技術を充分習得できたら、ゆくゆくは海外事業部で海外を拠点として仕事をしてみたいと思っています。

原沢 蓉子　土木技術設計／2015年入社

現場の「いいね！」の声に一体感を実感

私は新潟県出身で、中学生の時に中越地震を体験しました。生まれて初めての大きな揺れに驚き、安全は当たり前にあるものじゃないと痛感。その体験をきっかけに土木への興味が湧き、大学は土木工学科へ進学し、大学院ではコンクリートについての研究をしていました。土木設計のやりがいは、私たちが考えた施工方法のプランに現場の方々が「いいね、これ」と言ってくださること。現場と一体になって、モノづくりに携わっている実感が得られる瞬間です。これからは、いろいろな経験を重ね、トンネルや橋梁などさまざまな土木構造物に携わっていきたいと思います。

土木技術設計 原沢 蓉子さんの一日

8:00 出社
毎朝8時頃出社します。

9:00 メールチェック、朝礼
出社後まずはメールと1日のスケジュールをチェックして業務内容を確認します。

10:00 検討業務
前日までに行った仮設構造物の施工ステップの検討や図面作成、計算などを引続き行います。

11:00 先輩社員との打合せ
先輩社員に検討業務の進捗について報告をしたり、困ったことを相談したりします。

12:00 昼食
会社の近くでお弁当を購入して、社内のフリースペースで同期と一緒に昼食をとります。

13:00 部内会議
部内のグループ会議に出席し、議事録を作成します。

15:00 現場打合せ
施工状況について、現場のスタッフから説明を受けます。

16:00 現場視察
実際に現場を見て、施工状況や進捗を把握します。

18:30 退社
翌日の業務と予定を確認して退社します。 退社後は、友人と買い物や外食をしてリフレッシュします。

建築施工 鈴木 圭さんの一日

8:00 朝礼
現場のスタッフが全員集合し、当日の作業状況、危険ポイントを全作業員に周知させます。

9:00 現場巡回
各作業場の作業状況を点検・確認をします。

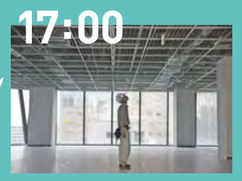
11:00 社内打合せ
担当社員の定期打合せで、現在の進捗状況や、問題点などを共有します。

12:00 昼食
現場事務所で、社員全員で食事をしながらコミュニケーションを図っています。

13:00 計画
次工程の作業計画、コスト計画を立案します。全体に関わる重要な仕事なので神経を使います。

15:00 設計事務所と打合せ
次工程の計画を、設計事務所のスタッフと打合せをします。

17:00 確認
当日作業の進捗状況、品質状況を計画通りであるか確認します。



18:00 書類チェック・作成
日常管理書類のチェックおよび作成を行います。

19:00 現場の先輩・同僚らとの懇親会
オフタイムは、家族との時間を大切にしていますが、現場のみなさんと懇親会を開催することもよくあります。

現場密着ルポルタージュ

現場を支える若手社員の一日

建設現場は、どんな工事でも同じ状況は生まれません。それだけに日々の仕事の積み重ねが重要になります。建築、土木の現場に関わる若者の一日を実感してください。

鈴木 圭　建築施工／2009年入社

「大きいもの」を造る、夢実現のまっただ中

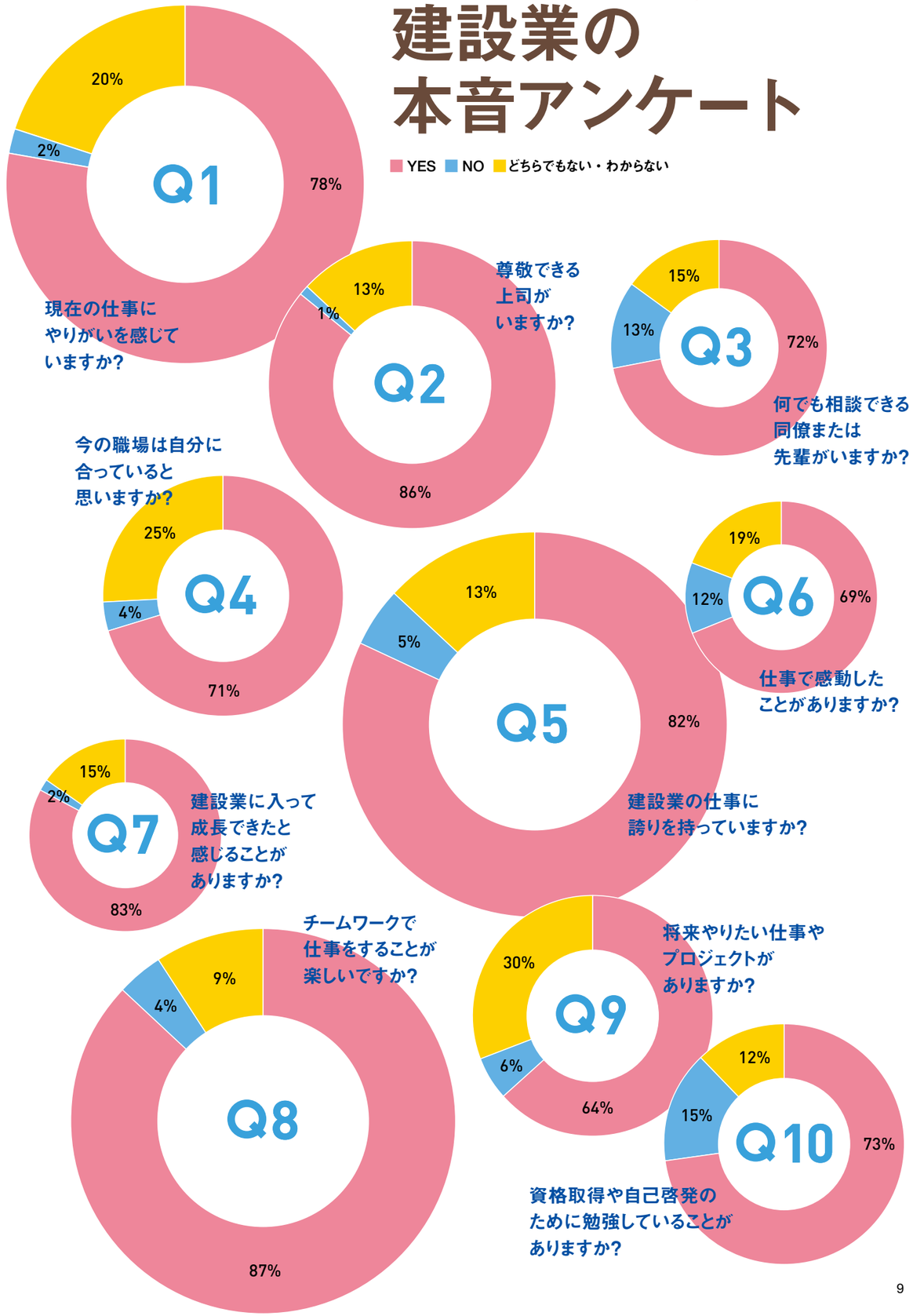
子どもの頃からモノづくりが好きで、特に「大きいもの」を造りたいとずっと思っていました。大学で都市開発を研究したのも、建築施工という仕事を選んだのも、そういう意思があっての選択です。入社7年目の現在までに5つの物件に関わり、それらはすべてオフィスビルでしたが、最も高さがあるのは今の現場の建物です。この現場で初めて部下ができましたが、自分が教える立場になれたのも知識と経験が身に付いたからだと思いますし、逆に多くのことを気付かされることもあります。将来、さらに高いビルや大きな建物を造る現場に携わっていきたいと思います。

建設業で　働く若者
100人
に聞き　ました！
人の生活を創る、社会に無くてはならない仕事です！
更地から建物を建て、地図や形に残る仕事に誇りを持っています。
日々忙しく辛い時もありますが完成した時の感動、お客様が喜んでいただけるのを楽しみに頑張っています。
自分が携わった建物は、子どものようなもの。気に入ってもらえると嬉しいな〜。
自分の考えが現場で実現されている時や活用されている時に喜びを感じます。
会社の活力となるよう、明るく元気に対応します。
現場と設計それぞれを経験したことで、自分で設計した橋を自分で施工してみたいと思うようになった。
日々の努力を惜しまず、知識を広げ、どんな物件でも任せてもらえる技術士になりたいです。
現場が竣工するといつも泣きます。
大きな大きな想いを抱いて仕事をすると、とても達成感のある仕事だと感じます。
チームワークがとても重要で、人と人とのつながりがとても感じられる仕事です。
「現場は生もの」とよく言いますが、日々変わっていく状況に大変さと面白さを感じます。
周りがいい人ばかりです。社内的なビッグプロジェクトに関わりたい。
街中に、自分の会社が関わった建物、施設があるのがおもしろいです。
長い工期の中、皆が協力して一つのものを造るので、終わった時に皆で味わえる達成感がハンパじゃないです。
山あり、谷ありですが、他の業界では経験できない仕事に関われます。
今よりスキルを身に付け周りから頼りにされるようになりたいです。
現場の先輩方だけでなく、いろんな方から多くの事を学べる仕事です。
毎日違った充実した日々と、竣工後のやりきった満足感が現場のやりがいです！
建物を造るとは命を守る仕事。与えられた責任は大きいです。
人々が安心して過ごせる建物を建てることが僕の使命です。
自分の働いている会社が造った建物を街でみると嬉しいです。
自分が関わった仕事が実際に形になることが、この仕事の魅力だと思います。
意外と女性が多い業界です。
ふたつとない建物を造る喜び、それが世の中に貢献できる喜び。
休日でも、つい見かけた仮囲いをチェックしてしまいます。職業病です(笑)。
職人さんたちの熱い仕事の姿勢が大好きで、自分も頑張らないといけないと成長させていただいています！
何事も柔軟に吸収し、元気に明るく、わたしらしく、向上心を持って頑張ります!
お客様からの「ありがとう」それが何よりも嬉しく、心に響きました。
覚えることがたくさんあって大変ですが、早く現場に出たいです。
相手の要望に応え、喜ばれることで働くことに価値を感じます。
何もない場所からインフラを造る。建設業でしか味わえない仕事です。
「未来を創る」という仕事を誇りに思います。
一人じゃ出来ない仕事がここにある。
頼りになる上司や先輩方が多く、日々勉強になります。
人との関わりが多く、自分が建てた建物が残ることに責任と誇りを感じています！
社会人としての常識を学び、資格をとって役に立ちたい。
大変な事も多いですが、自分のステップアップのために日々頑張ってます。
気さくな上司、先輩が多く何でも質問できる環境に日々感謝です。
仕事にやりがい感じています。現場で職人さんたちとコミュニケーションをとりながら、ものをつくっていく。世代をこえた色々な人と関わりあえるのも楽しいです。

建設業で働く若者100人に聞きました！

建設業の本音アンケート

■YES ■NO ■どちらでもない・わからない



ベテランからのメッセージ

私の駆け出し時代

忙しい時こそ着実性を忘れてはならない

高橋 誠 建築作業所 所長

私と建設業界との関わりは、大学時代まで遡ります。当時、40階建てマンションを建設するプロジェクトにアルバイトで参加していました。いつかは超高層マンションの現場を担当したいという気持ちで建設会社に入りました。今は念願かない超高層マンションの所長として働いています。

ここまで、さまざまな現場を経験しました。ある県で公共の複合施設を担当した時は、工期が遅れ気味で関係者の方々から苦い言葉をかけられたりしました。悔しさを内に秘めて懸命に作業した結果、最終的には予定より早く竣工を迎えることができ、県知事より労いの言葉をいただきました。また、ある物件でコンクリート担当になった際には、発注したコンクリートの量を見たら余りそうな気がして、独断で一部返却してしまいました。実際はわずかに足りなくて、急遽発注し直す羽目になり、上司や先輩に大目玉を食らいました。

若い頃の経験から学んだことは、忙しくて慌てている時こそ着実にやれということ。ミスを隠そう、ごまかそうとすると、事態が余計に酷くなるものです。

建設業は天候の脅威を相手にする仕事で、さまざまな苦労があります。しかし、それらを乗り越えて完成した建物には、関わった者たちの誇りと社会を支える役割があり、他業種では絶対味わえない感動があります。このやりがいある世界に、ぜひとも多くの意欲ある若い人たちに来てほしいと思います。

土木工事とは、水との戦いを制すること

堀井 裕蔵 土木作業所 所長

基礎工事を得意とする会社で土木施工に携わって27年、主にコンクリート構造物を手がけてきましたが、思い返せば、水との戦いの日々でした。新入社員で配属された河川の護岸工事では、夕立のたびに切り回した水路があふれるので、構築部分の清掃に追われる毎日。次の排水施設工事では床付け地盤が砂層だったため、湧水によりなかなか床がつきませんでした。また、地下構造物のクラックからの漏水に頭を抱えた工事もありました。水は正直で怖いもの、油断できない敵。その敵との戦いを制することが、土木工事です。

大深度地下での施工を可能にする技術、コンクリートのひび割れを抑制する技術など、難題が起こるたびに土木技術は進化してきました。これからもその歩みが止まることはないでしょう。

土木工事は、毎回違うものをつくる一品生産で、工種や工法は多種多様。不測の事態も多いので、仕事は常に多忙です。しかし、インフラ整備を担っている責任感や竣工時の達成感は非常に大きく、とてもやりがいがあります。工事現場では、同僚はもちろん、発注者様をはじめJV出向社員、協力会社職員、現場作業員、近隣住民の方々など多くの人と関わり合い、最終的には皆で達成感を共有できることもこの仕事の魅力の一つです。その達成感を一つひとつ積み重ねることが、働く原動力となっています。

未来創造への街づくり

都市再開発プロジェクト

みなさんの熱意とエネルギーが東京の未来を創る

昭和30年代から始まった高度成長時代に建てられたビルの多くは、建築後50年以上の年月が過ぎ、修繕や改修では対応しきれない状況がますます増えてきています。単体のビルとしてだけではなく、街単位で同じような状況が発生してきており、都心部を中心に多くの都市再開発事業が計画されています。すでにいくつかの計画が発表され、工事に着手したプロジェクトもあります。ここでは、「渋谷駅周辺再開発」をはじめ、都内で進められている再開発事業をご紹介します。
未来の社会を支える新しい街づくりに参加しませんか？

渋谷駅周辺再開発

「渋谷駅地区 駅街区開発計画」は、JR渋谷駅東側に地下7階、地上47階、高さ約230mの東棟をはじめ、西棟と中央棟の3棟を建設します。その他、地上35階、高さ約180mの「渋谷駅南街区プロジェクト」、地上18階、高さ約110mの「渋谷駅地区道玄坂再開発計画」も進められており、2027年度の完成を目指しています。

完成イメージ（原宿より渋谷を臨む）

完成予想図（2027年度）

東京駅前八重洲周辺再開発

東京駅八重洲口では、八重洲一丁目東地区、八重洲二丁目北地区と八重洲二丁目中地区の3ヶ所で大規模な再開発が計画されています。地上54階、高さ約250mの超高層複合ビルをはじめ、3地区合わせて延床面積90万㎡を超える大規模再開発で、2023年度の完成を予定しています。

八重洲二丁目北地区第一種市街地再開発事業完成イメージ

環状第二号線 新橋虎ノ門地区第二種市街地再開発事業

都心と臨海部を結ぶ骨格幹線道路である環状2号線のうち、新橋～虎ノ門を結ぶ『新虎通り（1.4㎞）』では、市街地再開発事業により道路整備と一体的な周辺まちづくりが行われています。将来はパリのシャンゼリゼ通りのように緑豊かで賑わいのある街並みができるでしょう。

新虎通りの開発イメージ（東京都提供）

2020年 世界からのお客様を「お・も・て・な・し」

東京オリンピック・パラリンピック

世界の人々をもてなすために、若者の情熱を結集する

2020年7月24日から、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。世界中の人々が注目するアジアでは初の二回目となる「東京五輪」になります。これに伴い、収容人数6万8000人規模の新国立競技場をはじめ、数々の競技施設の整備が進められています。その他にも各国からのお客様を迎えるための交通インフラの整備やユニバーサルデザインを施した街づくりなど、日本の高度な建設技術とクオリティを世界に広める良い機会でもあり、情熱を持った若い建設人の結集により、世界の期待に応えていきましょう。

新国立競技場 イメージパース

*大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所 JV 作成 /JSC 提供

仕事の流れと職種紹介

企画提案	設計	施工	竣工・引渡し	アフターサービス
営業 不動産開発 都市再開発	意匠設計 構造設計 設備設計 土木設計	建築施工 設備施工	土木施工 スタッフ（作業所事務）	
		環境エンジニアリング プラントエンジニアリング 新エネルギーエンジニアリング 情報エンジニアリング	スタッフ（管理部門） 情報システム 建築生産技術	

※この表は、各企業により異なりますので、あくまで参考資料としてご覧ください。

職種と進めるフィールド

学科	職種	進めるフィールド											
		経営企画、広報、人事、法務、総務など	財務、経理	作業所事務	営業	営業企画	工務、工事企画	施工	設計	積算	研究開発エンジニアリング	不動産開発	新規事業推進
文系 / 理系	事務	●	●	●	●	●						●	●
土木系	土木施工	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●
	研究開発（土木）	●			●			●	●		●		●
建築系	建築施工	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●
	意匠設計	●			●	●		●	●	●	●	●	●
	構造設計	●			●			●	●	●	●		●
	研究開発（建築）	●			●			●			●		●
	設備	●			●			●	●	●	●		●
機電系	機械・電気	●			●			●			●		●

※この表は、各企業により異なりますので、あくまで参考資料としてご覧ください。

■ 事務

［**営業**］お客様と直接、提案や交渉をする窓口となります。受注を目指して、お客様からの要望を伺い、社内の各部門と連携をとりながら、企画提案をまとめていきます。受注後も、施工中はもちろん、物件を引き渡した後もきめ細かなサポートを行います。

［**経営・管理**］経営や事業の戦略を立案し遂行する経営企画をはじめ、広報、人事、法務、総務そして財務、経理などさまざまな業務があります。

いずれも企業の組織・システムを支える重要な役割を担っています。

［**作業所事務**］工事現場の庶務や経理を担当し、現場作業員や協力会社の管理、現場近隣との折衝なども行います。

■■ 土木施工・建築施工

工事現場で実際に構造物がつくられる過程に関わり、現場の安全や品質、工程、コスト、環境を管理します。建設に関する知識や技術だけでなく、さまざまな関係者との調整や交渉などコミュニケーションやマネジメントの能力が要求されます。

■ 意匠設計

お客様の要望に応えながらも、利用者に長く喜んでもらえることを目指し、高いデザイン性と利便性を兼ね備えた建築物を提案します。より快適で機能的な空間をつくるには、設計力だけでなく、構造設計や設備との協力体制が必要です。

■ 構造設計

柱や梁、床などからなる建築物の構造形式を設計します。安全性はもちろん、デザインやコストの上でも優れた提案が求められます。近年は耐震改修の物件が増え、注目度は高まっています。また、災害に強い工法やコンクリートの開発にも関わります。

■■ 研究開発（土木・建築）

土木や建築に関わる新たな工法やシステム、資材などの研究開発を行います。独自技術は大きな優位性につながるので、多くの企業が研究開発への投資に積極的です。環境保全や地震をはじめとする災害対策など、取り組んでいるテーマは広範にわたります。

■ 設備

空調や電気、給排水の設備システムの設計・積算から、施工、完成後のサポートまでを手がけます。いわば建物内空間の快適性を創造する仕事です。近年では設備部門を主体とした建築物のリニューアル工事が増えており、重要性が高まっています。

■ 機械・電気

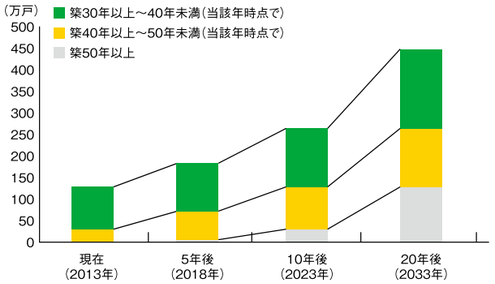
建設機械の運用から整備、管理までを行うのが主な業務です。土木や建築の施工現場へ赴いて技術提供をしたり、研究開発の現場で技術支援を行ったりもします。トンネルやシールドといった現場には、機械・電気の技術員は不可欠です。

建設業界を取り巻く環境と社会的役割

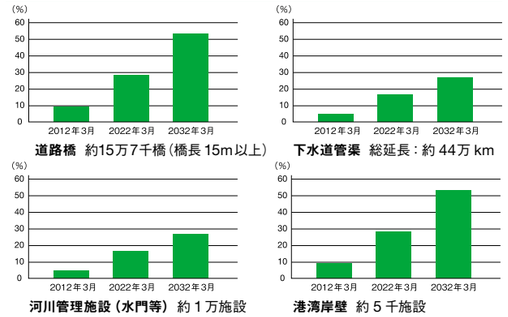
2014 年、国土交通省より「インフラ長寿命化計画」が発表されました。これは、道路や空港、鉄道、下水道、ダムといったインフラが老朽化している現状を見すえ、定期的な点検、修繕、整備を行うだけでなく、将来にわたって長く使えるインフラに更新しようという提言です。マンションやオフィスビルについても同様で、耐震性不足の建築物は早期に建て替えや耐震補強を行う必要があると指摘されています。安心して暮らせる安全な社会を実現するために、建設業界の果たす役割は、さらに大きく重要になってきています。

わが国は火山が多く、また海に囲まれているため、地震、台風、津波といった自然災害が多発しており、それらに耐えうる街づくりは急務です。建設業界は、構造物にとって特にダメージの大きい地震への対策として、従来の耐震構造の他にも、より揺れに強い制振工法・免震工法を開発しています。また、既存構造物の耐震補強技術もさらなる向上を目指しています。

建築後 30、40、50 年超えのマンション数



建設後 50 年以上経過する社会資本の割合



マンションは修繕・改修から建て替えの時代へ

2014 年に施行された「改正マンション建て替え円滑化法」は、老朽化マンションの建て替えを推進するために、売却や解体の条件を緩和した法律です。築 30 年以上の物件の中でも、特に 1981 年以前の旧耐震基準の物件が問題視されており、2015 年現在 100 万戸以上あると言われています。今後、恒常的に老朽化マンションが増加していく中、建て替え需要がますます増加していくことになります。

コンクリート構造物の大量更新時代への対応

東京において、いま私たちが目にしている多くのインフラは、1964 年の東京オリンピックの際に整備されたものであり、建設後 50 年以上が経過しています。日本の古い建築基準の場合、コンクリート構造物の耐用年数は 50 ～ 60 年と言われており、老朽化インフラへの対策はまさに緊急の課題です。全国的にも同様な傾向にあり、今後、インフラの更新事業が本格化する時代になると言えます。